

記者発表資料

平成26年 8月 8日
東北地方整備局
三陸国道事務所

**三陸沿岸道路専用『公共プラント』（宮古地区）
の完成及び稼働開始についてのお知らせ**

三陸沿岸道路工事により今後需要が急増する生コンクリートの安定供給に向け、宮古市田老において建設中の三陸沿岸道路専用「公共プラント」が完成し8月31日からプラントの稼働を開始します。
つきましては、下記によりプラント設備の竣工式及び稼働式を開催する予定ですので、お知らせします。
なお、式典の内容や現地での詳細な案内等については、改めてお知らせする予定です。

三陸沿岸道路専用「公共プラント」竣工式

1. 日 時：平成26年8月31日（日） 11：00～
2. 場 所：宮古市田老字川向地内（別紙－1参照）
3. 主 催：国道45号摂待道路工事大成・銭高・東コン特定建設工事共同企業体

三陸沿岸道路専用「公共プラント」稼働式

1. 日 時：平成26年8月31日（日） 13：00～
2. 場 所：宮古市田老字川向地内（竣工式と同一場所）
3. 主 催：東北地方整備局三陸国道事務所

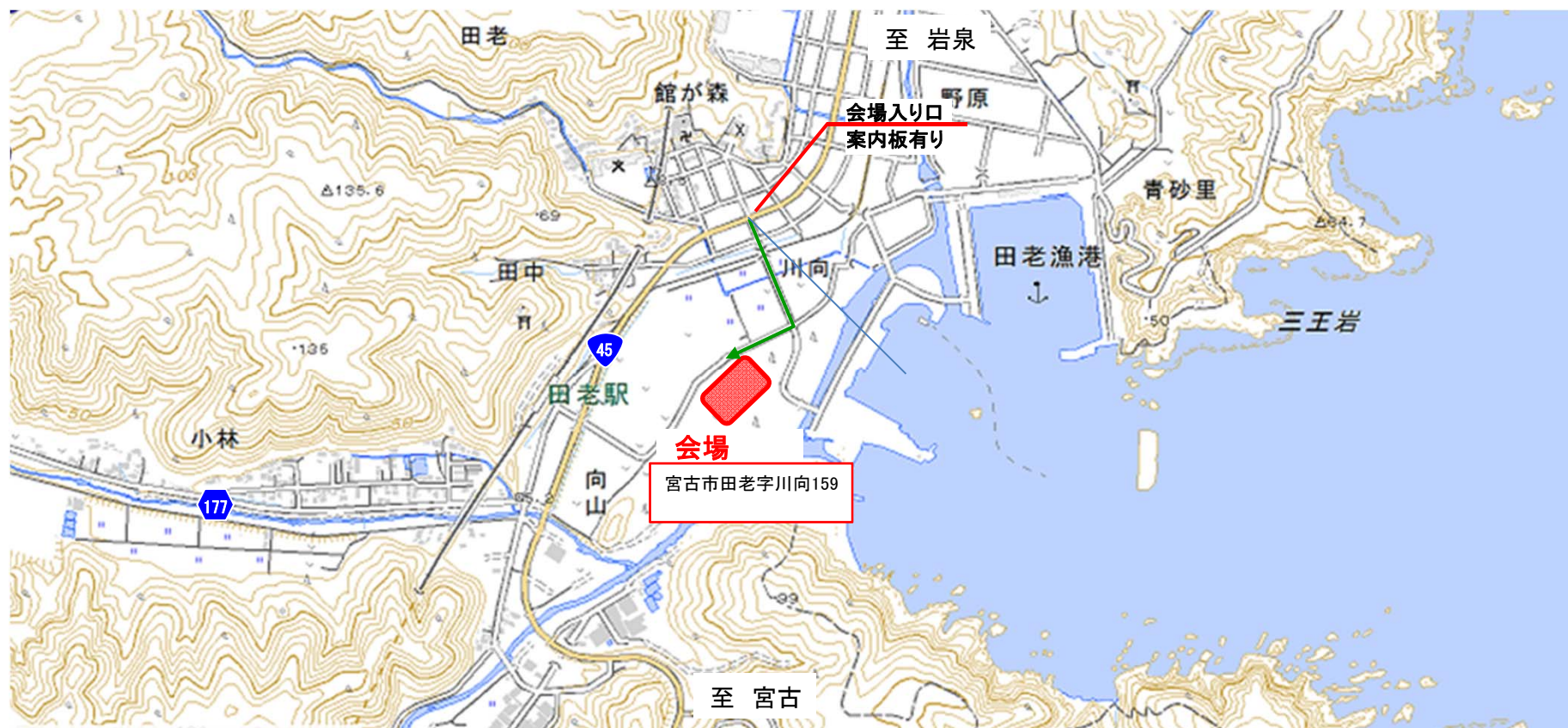
※プラント設備概要

- ・敷地規模：約1万m²
- ・供給能力：90m³/h（公称1.5m³練り）
- ・製造予定量：約15万m³

《発表記者会：岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、久慈報道機関、東北専門記者会各社》

問い合わせ先	
東北地方整備局三陸国道事務所	電話 0193-62-1711(代表)
副 所 長	としま 戸嶋 守
工務第二課長	まつばら 陽一

会場案内図



三陸沿岸道路

三陸地域を通り、宮城県仙台市～青森県八戸市間を結ぶ総延長約359kmの主要幹線道路です。国道45号に見られる峠道や急カーブ区間を回避し、走行性が向上するとともに、所要時間の短縮により救援物資の輸送拠点都市へのアクセス性向上、救急医療施設への速達性の向上が期待されます。

三陸沿岸道路は、被災地の復興の背骨となる太平洋沿岸軸を形成し、地域の1日も早い復興を図るためのリーディングプロジェクトとして重点的な緊急整備を実施している路線です。

公共プラントの役割

公共プラントは、三陸沿岸道路工事により今後需要が急増する生コンクリートの安定供給に向け、三陸沿岸道路専用の生コンクリートプラントとして国土交通省が設置するものです。

これにより、三陸沿岸道路の事業工程に対する遅延リスクが軽減されることはもとより、地域の復興事業で必要となるコンクリートの需給バランスを阻害すること無く、地域全体の円滑な復興事業の推進を支援するものです。



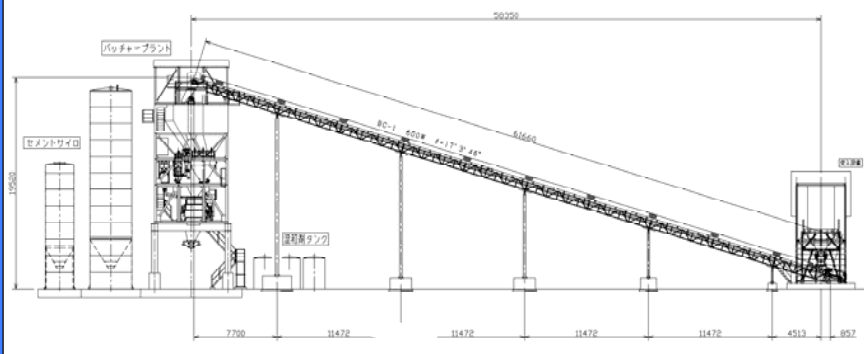
復興道路 がんばろう！東北

工事名称 : 国道45号 摂待道路工事
工事場所 : 岩手県宮古市田老字川向159番地
工事期間 : 平成26年1月23日～平成28年12月15日
発注者 : 国土交通省 東北地方整備局
施工者 : 大成・銭高・東コン 特定建設工事共同企業体



設備概要 : 敷地面積 10,830m²
 総生産量 約15万m³
 生産能力 500m³/日 (25mプール3杯分)
 ミキサー 2軸強制式1.5m³/バッチ×1基
 セメントサイロ 200tサイロ×2基
 50tサイロ×2基

生コンクリート製造設備 正面図



公共生コンクリートプラント 全体平面図



復興道路 がんばろう！東北

公共生コンクリートプラント完成予想図

～地域の復興とその先の未来へ～

